

2月の中小企業月次景況調査(茨城県)

〔令和7年2月末現在〕

令和7年3月13日
茨城県中小企業団体中央会

全体で、「景況」、「売上高」、「収益状況」の主要3指標DIを見ると、「景況」、「売上高」、「収益状況」のいずれも前年同月比、前月比ともに悪化した。

業種別でみると、「景況」、「売上高」のいずれも製造業、非製造業ともに前年同月比及び前月比で悪化した。「収益状況」は、製造業では前年同月比、前月比ともに悪化し、非製造業では前年同月比は悪化したが前月比は改善した。

エネルギーや原材料等の価格高騰が続く中で、さらなる価格転嫁を行うことは難しく、収益の悪化に苦慮している報告があった。

景況DI

製造業は、前月比8.0ポイント悪化の▲40.0ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント悪化の▲29.2ポイント、全体では、前月比6.1ポイント悪化の▲34.7ポイントとなった。

売上高DI

製造業は、前月比28.0ポイント悪化の▲40.0ポイント、非製造業は、前月比25.0ポイント悪化の▲4.2ポイント、全体では、前月比26.5ポイント悪化の▲22.4ポイントとなった。

収益状況DI

製造業は、前月比8.0ポイント悪化の▲48.0ポイント、非製造業は、前月比4.2ポイント改善の▲20.8ポイント、全体では、前月比2.0ポイント悪化の▲34.7ポイントとなった。

茨城県中央会では、中小企業を取り巻く様々な環境の変化の下で、中小企業の発展を確保していくために中小企業の動向、問題点、要望等を機敏かつ的確に把握するために、中小企業で構成されている事業協同組合等の中小企業団体に情報連絡員を設置し、最新の「景況、売上高、収益状況、販売価格、取引条件」などの景気動向調査を実施しております。

報告者名

報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和7年2月

情報連絡一覧票

集計上の分類業種		具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製 造 業	食料品	学校給食パン	雇用状況の悪化を危惧する組合員企業が多数あり、県北地区の組合員の中には、求人を数か月行っても応募がない場合もある。
		清酒	○県内全体の課税移出数量・業界全体の現状 1月の清酒課税移出数量は、対前年同月比118.1%であった。本格焼酎については同88.4%であった。清酒の増加は2月分の出荷が早まったため、傾向としては前年に対して横ばいの状況が続いている。 ○県内当業界について 茨城県産コシヒカリの価格が1俵45,000円となっている。農水省が備蓄米の放出を発表した後は値上がりは止まったが、値下がりの兆候が見えない。 原料米の高騰分を価格に転嫁する必要があるが、大幅に値上げすると消費者の日本酒離れが進む恐れがあり、各蔵元とも踏ん切りがつかない状況である。
		納豆	人手不足の状況が続いている。 米の価格高騰により米の消費が減少し、それに連動して納豆の消費も減少するのではないかと懸念している企業がある。
		菓子	人手不足により、これまでの年中無休の営業から週1日の定休日を設けたことで売上高が減少している組合員企業がある。 社員の賃金引上げにより人件費が上昇し、収益を圧迫している組合員企業がある。
		漬物	原料の野菜価格は高値で推移している。また、資材や運送費用等の値上げもあり、その分を商品価格に転嫁できていないことに苦慮している。
		食肉	鳥インフルエンザの影響で鶏が殺処分され減少していることなどから卵の価格が高騰し、養鶏場では親鳥に卵を産ませる期間を伸ばしている。そのため養鶏場からの出荷が遅れ、原料の親鳥が不足していることで工場では稼働率が低下し、売上高や収益が減少している。
	繊維工業	外衣シャツ	令和6年10月で受注していた案件の7割が終了し、新規案件の受注に向け営業しているものの、減少量の1割程度しか受注量は回復していない。そのため経費を削減しているが、収益と資金繰りは悪化し経営は厳しい状況に追い込まれている。

報告者名

茨城県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	木材・木材製品	製材	原木の価格は杉、桧ともに横ばいとなっている。 国産材製品は杉、桧ともに丸太不足で、価格は高止まりしている。 外材も入荷量は減少傾向となっているが、価格はほぼ横ばいで推移した。
		県北地区プレカット	月間加工坪数は目標の60%を達成した。 3月の加工予定は14棟で初旬から中旬に集中している。 木材費は先月と同じく高値を維持している。
	紙・紙加工品	段ボール	業界全体で前年より生産量が減少している。 大手企業の生産量も悪化しているが、中小企業はさらに悪化しており、年末に少し景気が戻ってきたかと思われたが、今年に入りまた景気が悪くなってきているように思われる。 米国が、関税を引き上げていることから、更なる景気の後退を招かないかと懸念している。
	印刷	総合印刷	前年同月と比べ業況に変化はなく、収益と資金繰りは厳しい状況が続いている。 資材の値上げに対して各社とも納入品への十分な価格転嫁ができていない。
	窯業・土石製品	陶磁器	原料である粘土や釉薬の値上げが続いている。
製造業	鉄鋼・金属	電気めっき	売上高に大きな変化はなかったが、2月後半の受注量は減少し、このまま3月も受注量が減少すれば3月の売上高は減少する。 金属材料、工業薬品、電気代、燃料費・灯油等の石油製品は高値で推移している。
	一般機器	生産用機械	主要取引先からの受注減少が続いていることが主要因となり7組合員の売上高は対前年同月比で1社増加、6社減少の全体増減率74%と12ヶ月連続で減少となったが、前月比では8ヶ月連続で増加している。 また、受注減少に伴い派遣社員数が減少しているため、団地全体の従業員数は対前年同月比で減少している。

報告者名

報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和7年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
	輸送用機器	県北地区自動車部品	取引先からの受注が減少傾向にあるため、売上高が減少し始めており、今後も厳しい経営状況が予想される。
非 製 造 業	卸売業	生鮮魚介	ほぼ全ての商品単価が上昇しているが、取扱数量は減少しているため取扱高は対前年同月比で98.69%と減少した。 商品単価の上昇分を十分に価格転嫁できず、収益が圧迫されていることから卸売業者をはじめ、仲卸業者、小売業者等の販売業者の経営は厳しい状況にある。
		米麦	政府備蓄米の買戻し条件付き売渡しが発表されたが、米価高騰が続いており、組合員は今後の動向を注視している。
		袋セメント	袋セメントの2月度出荷数量は27千袋、対前年同月比78.62%の実績となった。 恒常的な人手不足や働き方改革による工期の長期化に伴う月間また年間での袋セメント需要の減少、低価格のノンブランド品への顧客流出等の要因や官公庁関連の工事発注件数も少なく出荷量は低調に推移した。
	小売業	鹿行地区共同店舗	組合全体の売上高は対前年同月比97.14%、前年度よりも売上高が増加した店舗は全体の5割であった。また、来店客数は同93.83%であった。 電位治療器メーカーの出店により来客数は増加しているように思える。今後、店舗全体の売上増加に繋がることを期待している。
		燃料	国の燃料油価格激変緩和策により全国のレギュラーガソリンの平均価格は185円程度に抑えられているものの、石油等の仕入れ価格が上昇し、茨城県の平均価格は対前年同月比で9.6円/ℓ上昇している。 小売価格が高止まりしていること等を要因として燃料の販売量は減少している。 安値販売をする会社も出てきていることから、価格競争が起こり販売コストの上昇分を十分に価格転嫁しきれていない。 円安による原油価格の高止まりによりガソリン価格は下がる気配がなく、消費者の石油燃料の買い控えが懸念される。
		二輪自動車	2月は後半にかけて暖かい日が続く、この調子で暖かさが続けば春に向けて販売台数の増加が見込めると思われる。
		スポーツ用品	市内中学校の統合により新学校の物品注文（スポーツ用品）が増加、また各中学校の体育着の注文も増加の傾向にある。 メーカーの値上げにより各スポーツ用品の販売価格は上昇している。 日立市は人口減少が著しく、その分市外への営業活動を強化していく必要がある。

報告者名
報告年月

茨城県中小企業団体中央会
令和7年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
		中古自動車	2月の販売台数は対前年同月比で116.7%、販売価格は同105.7%と好調だったため、売上高も同123.4%と前年度を大きく上回った。 ただし、仕入価格や輸送費等の高騰により収益増加には繋がっていない。また、コロナ禍前（令和元年2月）と比較すると、売上高は3割近く減少しており、厳しい経営環境が続いている。
		野菜・果実	2月は野菜果物合計で対前年同月比109.5%の取扱高となった。 先月から引き続き多くの品目で低調な入荷量となり、単価高となった。 今冬の降雨不足によって生育不良や品質低下が起き入荷量が減少したことが単価高の大きな要因となっていると思われる。
	商店街	ひたちなか	人材確保のため休日を増やすなど雇用条件を見直す店舗が増えてきている。
		筑西	米の価格高騰が続いているが、飲食店の中には消費者の購買意欲の低下を懸念して何度も価格改定を行うことが難しく、収益が悪化している店舗がある。
	サービス業	自動車整備	組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の対前年同月比は普通車（100.2%）・軽自動車（96.2%）と普通車においては、ほぼ横ばいだが軽自動車は4%の減少となり、普通車と軽自動車を合わせた平均でも98.5%とやや落ち込みが出てきている。
		旅館、ホテル	人手不足が見受けられ、人材確保が難しい。 インバウンド比率は施設によりまちまちだが、約1%程度（国内利用若干増・インバウンド利用若干減） 県内各エリアで梅まつりやスポーツ大会等が開催され宿泊を伴う観光客が増えた。 県北ではあんこう目的のお客様で賑わい、売上高は前年を上回った。 観光需要が増加したことで多くの施設が好転傾向にあった。

報告者名

報告年月

茨城県中小企業団体中央会

令和7年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
非 製 造 業		ビル管理	売上高、受注単価は増加しているものの労務費、燃料費、資機材消耗品費も増加しているため利益の増加につながらない状況が続いている。
	建設業	鹿行地区建設	時間外労働の削減のため、デジタル化を活用した効率化等の取組みが求められている。 また、労働環境を改善し人手不足を解消するため、週休2日制工事の受注・施工が求められている。
		県北地区管工事	県内の水道事業の広域化について、県と各市町村が協定書を締結した。
	運輸業	軽貨物自動車	令和7年度2月度の組合員数は96名、車輛台数は124台で、前月と比較して増減なしであった。また、運送売上高は対前年同月比88.5%であった。
		一般貨物自動車	主要顧客の発送物量は低調だが、売上は運賃を値上げしたこともあり、ほぼ横ばいで推移した。 燃料価格、車両価格、整備代等の上昇により収益が圧迫され、厳しい経営状況が続いている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	学校給食パン	パン給食の回数増加
	清酒	米価の高騰により収益が圧迫されている業者への補助金の検討をお願いしたい。
小売業	燃料	揮発油に課税している二重課税の廃止 燃料油価格激変緩和策の継続、補助金の今後の見通しの周知徹底（激変緩和策、暫定税率撤廃等） 物価上昇、円安への対策

報告者名

茨城県中小企業団体中央会

報告年月

令和7年2月

情報連絡一覧票

	集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
		スポーツ用品	関ブロ（令和7年9月25日開催）での講師の人選をお願いしたい。
	サービス業	旅館・ホテル	宿泊業で申請可能な補助金・助成金の情報を周知してもらいたい。 外壁塗装の補助金を計画してもらいたい。
	建設業	鹿行地区建設	公共工事の発注件数の増加

月次景況調査 2月のD I（前年同月比）

項 目	全 体			製 造 業			非 製 造 業		
	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比	2月	1月	前月比
景 況	▲ 34.7	▲ 28.6	▲ 6.1	▲ 40.0	▲ 32.0	▲ 8.0	▲ 29.2	▲ 25.0	▲ 4.2
売 上 高	▲ 22.4	4.1	▲ 26.5	▲ 40.0	▲ 12.0	▲ 28.0	▲ 4.2	20.8	▲ 25.0
収 益 状 況	▲ 34.7	▲ 32.7	▲ 2.0	▲ 48.0	▲ 40.0	▲ 8.0	▲ 20.8	▲ 25.0	4.2
販 売 価 格	38.8	32.7	6.1	8.0	16.0	▲ 8.0	70.8	50.0	20.8
取 引 条 件	▲ 12.2	▲ 12.2	0.0	▲ 16.0	▲ 16.0	0.0	▲ 8.3	▲ 8.3	0.0

中小企業月次景況調査(令和7年2月)DI値(前年同月比)

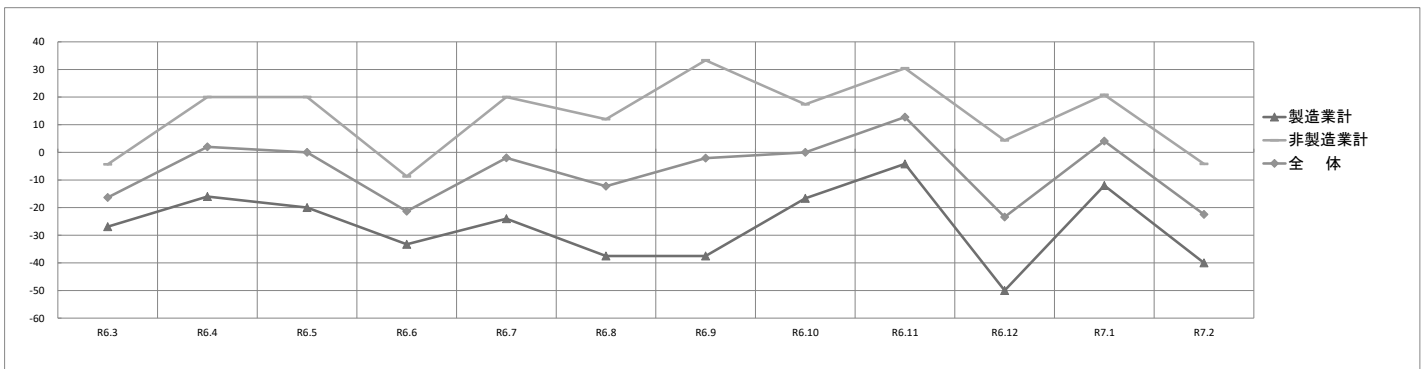
		売上高				在庫数量				販売価格				取引条件				収益状況				資金繰り				設備操業度				雇用人員				業界の景況												
		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)		D I		(内 訳)										
				増加	不変			減少	業界数			増加	不変			減少	業界数			上昇	不変			悪化	業界数			好転	不変			悪化	業界数			好転	不変	悪化	業界数	上昇	不変	悪化	業界数	増加	不変	減少
製造業	食料品	△ 25.0	0	6	2	8	△ 25.0	0	6	2	8	50.0	4	4	0	8	0.0	0	8	0	8	△ 50.0	0	4	4	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 37.5	0	5	3	8	△ 12.5	0	7	1	8	△ 50.0	0	4	4	8
	繊維工業	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 100.0	0	0	2	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2
	木材・木製品	△ 50.0	0	1	1	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2
	紙・紙加工品	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	印刷	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1
	窯業・土石製品	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	20.0	1	4	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 40.0	0	3	2	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5
	鉄鋼・金属	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	一般機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1
	電気機器	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1	△ 100.0	0	0	1	1	0.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	1	0	1	△ 100.0	0	0	1	1
	輸送機器	△ 66.7	0	1	2	3	△ 100.0	0	0	3	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	0.0	1	1	1	3	△ 33.3	0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3
	製造業計	△ 40.0	0	15	10	25	△ 24.0	0	19	6	25	8.0	5	17	3	25	△ 16.0	0	21	4	25	△ 48.0	0	13	12	25	△ 24.0	0	19	6	25	△ 20.0	1	18	6	25	△ 24.0	0	19	6	25	△ 40.0	0	15	10	25
非製造業	卸 売 業	△ 33.3	1	0	2	3	△ 33.3	0	2	1	3	66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	△ 33.3	0	2	1	3					0.0	0	3	0	3	△ 66.7	0	1	2	3	
	小 売 業 (商店街含む)	9.1	3	6	2	11	△ 9.1	1	8	2	11	81.8	9	2	0	11	△ 18.2	0	9	2	11	△ 18.2	1	7	3	11	△ 27.3	0	8	3	11					△ 18.2	0	9	2	11	△ 18.2	1	7	3	11	
	サービス業	33.3	2	0	1	3					66.7	2	1	0	3	0.0	0	3	0	3	0.0	1	1	1	3	0.0	0	3	0	3	△ 33.3					0	2	1	3	△ 33.3	0	2	1	3		
	建 設 業	△ 20.0	1	2	2	5					60.0	3	2	0	5	0.0	0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5	△ 20.0	0	4	1	5	0.0					0	5	0	5	△ 20.0	0	4	1	5		
	運 輸 業	△ 50.0	0	1	1	2					50.0	1	1	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	0.0	0	2	0	2	△ 50.0					0	1	1	2	△ 50.0	0	1	1	2		
	非製造業計	△ 4.2	7	9	8	24					△ 14.3	1	10	3	14	70.8	17	7	0	24	△ 8.3	0	22	2	24	△ 20.8	2	15	7	24	△ 20.8					0	19	5	24	△ 16.7	0	20	4	24	△ 29.2	1
全 体		△ 22.4	7	24	18	49	△ 20.5	1	29	9	39	38.8	22	24	3	49	△ 12.2	0	43	6	49	△ 34.7	2	28	19	49	△ 22.4	0	38	11	49	△ 20.0	1	18	6	25	△ 20.4	0	39	10	49	△ 34.7	1	30	18	49

D I 値推移表 (R6.3月 ~ R7.2月期)

《売上高の推移》

前年同月比	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
食料品製造業	16.7	▲ 42.9	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	14.3	▲ 42.9	0.0	▲ 25.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 5.6	▲ 22.2	▲ 71.4	▲ 11.1	▲ 41.2	▲ 35.3	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 52.9	▲ 17.6	▲ 47.1
製造業計	▲ 26.9	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 33.3	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 37.5	▲ 16.7	▲ 4.2	▲ 50.0	▲ 12.0	▲ 40.0
卸売業	66.7	100.0	0.0	▲ 66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	15.4	46.2	18.2	30.8	7.7	50.0	27.3	54.5	9.1	45.5	9.1
サービス業	0.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	▲ 50.0	33.3	33.3
建設業	▲ 20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	▲ 40.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	50.0	50.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 4.3	20.0	20.0	▲ 8.7	20.0	12.0	33.3	17.4	30.4	4.3	20.8	▲ 4.2
全体	▲ 16.3	2.0	0.0	▲ 21.3	▲ 2.0	▲ 12.2	▲ 2.1	0.0	12.8	▲ 23.4	4.1	▲ 22.4

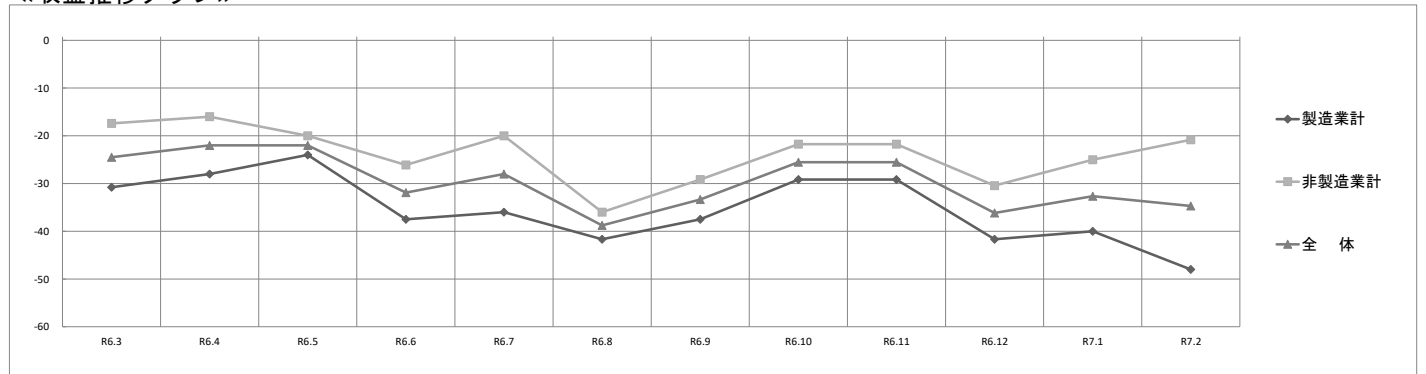
《売上高推移グラフ》



《収益の推移》

前年同月比	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
食料品製造業	16.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 14.3	▲ 42.9	▲ 37.5	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 45.0	▲ 27.8	▲ 22.2	▲ 35.2	▲ 33.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 29.4	▲ 35.3	▲ 41.2	▲ 41.2	▲ 47.1
製造業計	▲ 30.8	▲ 28.0	▲ 24.0	▲ 37.5	▲ 36.0	▲ 41.7	▲ 37.5	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 41.7	▲ 40.0	▲ 48.0
卸売業	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 66.7	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 15.4	▲ 18.2	▲ 23.1	▲ 46.2	▲ 33.3	▲ 18.2	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	0.0
建設業	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 17.4	▲ 16.0	▲ 20.0	▲ 26.1	▲ 20.0	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 21.7	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 20.8
全体	▲ 24.5	▲ 22.0	▲ 22.0	▲ 31.9	▲ 28.0	▲ 38.8	▲ 33.3	▲ 25.5	▲ 25.5	▲ 36.2	▲ 32.7	▲ 34.7

《収益推移グラフ》

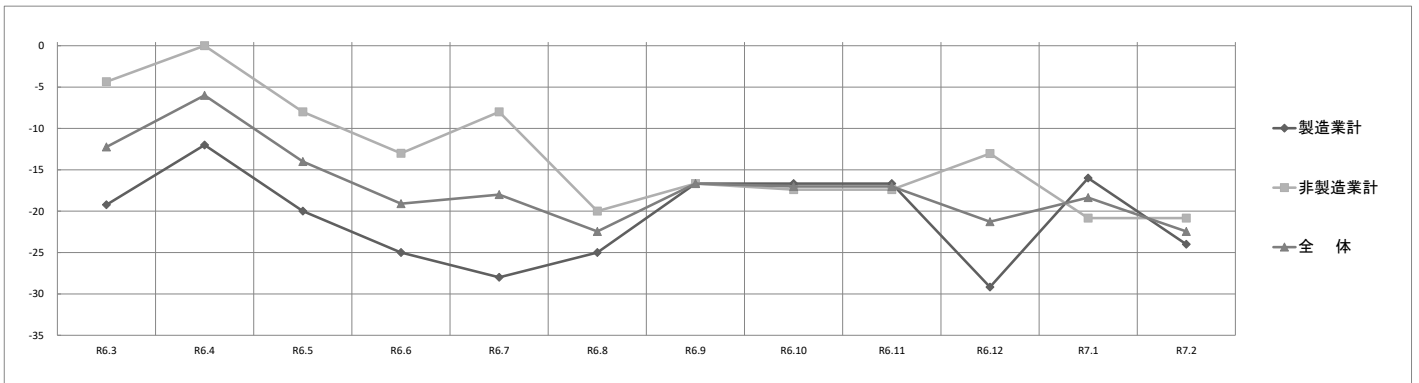


D I 値推移表 (R6.3月 ~ R7.2月期)

《資金繰りの推移》

前年同月比	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
食料品製造業	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 57.1	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 12.5	▲ 37.5
製造業(食料品製造業以外)	▲ 20.0	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 17.6	▲ 16.7	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 5.9	▲ 11.8	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 17.6
製造業計	▲ 19.2	▲ 12.0	▲ 20.0	▲ 25.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 16.7	▲ 29.2	▲ 16.0	▲ 24.0
卸売業	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3
小売業(商店街含む)	▲ 18.2	▲ 15.4	▲ 7.7	▲ 9.1	▲ 7.7	▲ 23.1	▲ 16.7	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3
サービス業	0.0	0.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	0.0	20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非製造業計	▲ 4.3	0.0	▲ 8.0	▲ 13.0	▲ 8.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 17.4	▲ 17.4	▲ 13.0	▲ 20.8	▲ 20.8
全体	▲ 12.2	▲ 6.0	▲ 14.0	▲ 19.1	▲ 18.0	▲ 22.4	▲ 16.7	▲ 17.0	▲ 17.0	▲ 21.3	▲ 18.4	▲ 22.4

《資金繰り推移グラフ》



《景況の推移》

前年同月比	R6.3	R6.4	R6.5	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2
食料品製造業	0.0	▲ 14.3	▲ 28.6	▲ 42.9	▲ 42.9	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 37.5	▲ 50.0
製造業(食料品製造業以外)	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 27.8	▲ 47.0	▲ 33.3	▲ 29.4	▲ 29.4	▲ 17.6	▲ 23.5	▲ 35.3	▲ 29.4	▲ 35.3
製造業計	▲ 30.8	▲ 20.0	▲ 28.0	▲ 45.8	▲ 36.0	▲ 29.2	▲ 29.2	▲ 20.8	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 32.0	▲ 40.0
卸売業	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7	▲ 33.3	▲ 66.7
小売業(商店街含む)	▲ 45.5	▲ 30.8	▲ 23.1	▲ 36.4	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 9.1	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 27.3	▲ 18.2
サービス業	▲ 50.0	0.0	50.0	▲ 50.0	▲ 100.0	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 50.0	0.0	▲ 50.0	▲ 33.3	▲ 33.3
建設業	▲ 20.0	0.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 40.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 20.0
運輸業	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 50.0	0.0	0.0	▲ 50.0
非製造業計	▲ 34.8	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 30.4	▲ 28.0	▲ 28.0	▲ 25.0	▲ 21.7	▲ 30.4	▲ 30.4	▲ 25.0	▲ 29.2
全体	▲ 32.7	▲ 20.0	▲ 24.0	▲ 38.3	▲ 32.0	▲ 28.6	▲ 27.1	▲ 21.3	▲ 27.7	▲ 31.9	▲ 28.6	▲ 34.7

《景況推移グラフ》

